

# 軽米町百人委員会平成 28 年度第 3 回環境・衛生部会議事録

○開催日時：平成 28 年 11 月 7 日（月）午後 6 時 0 0 分～午後 7 時 3 0 分

○開催場所：軽米町役場庁舎 3 階会議室

○出席者

委員：15 名中 11 人出席（小笠原恒治、門前克男、永井美保子、高橋克佳、畠山公志、丹下美恵子、山舘松五郎、工藤佐紀子、木村拓司、玉田弘悦、江刺家静子）

事務局：地域整備課	新井田 江刺家
町民生活課	中野
総務課	日山 梅木 小笠原 山舘

○開会

（地域整備課長）それでは定刻となりましたので、ただ今から平成 28 年度第 3 回軽米町百人委員会環境・衛生部会を始めさせていただきます。今日はお忙しいところこのように集まっていただきまして大変ありがとうございます。時間的にはだいたい 7 時半から 8 時ころには終了させていただきたいなと思っております。それでは部会長さんの方からご挨拶を頂戴したいと思います。

○部会長あいさつ

（部会長）おばんでございます。今日が 3 回目の部会ということになります。今日のテーマは町長への提言についてということになっておりますので、皆さんひとつよろしくお祈いします。

（地域整備課長）はい、ありがとうございます。それでは議事の方にこれから入りますけれども、議事の方は部会長さんの方から進めていただきたいと思います。よろしくお祈いします。

○議事

（1）第 2 回部会の内容確認について

（部会長）それではさっそく議事に入ります。議題の（1）について、事務局から説明をお願いします。

（地域整備課長）はい。それでは、皆さんのお手元に次第とは別に、前回の部会で道路・河川環境グループ、衛生・住環境グループにそれぞれわかれて討議していただいたんですが、それについて若干ご説明申し上げたいと思

います。それでは、道路河川環境グループでございます。①から⑧まででございます。①歩道整備を望む、②河川の氾濫などボランティアで倒木処理を手伝ってもらったらよいのではないか、③消防団の消火活動のため河川敷に「降口進入路」をつくった方がよい、④災害時の建設業者と消防団の連携の強化、⑤災害時の復旧について、町や県で管理するもの復旧させる分について図面か何かで分かるように教えてほしい、⑥県道二戸軽米線の道路環境の整備、⑦学校環境の整備について現職のPTAだけでなくOBへの協力を仰いでみてはどうか、⑧小軽米から軽米にかけて雪谷川沿いに管理道があるが、全線繋いで遊歩道として活用できないか、これが前回の道路・河川環境グループの内容となります。

そして2ページ目ですね、衛生・住環境グループの方でございますが、①通勤・通学・通院・買い物などあらゆる人が安心して暮らせる町づくり、②隣近所の支え合いなど災害時でも安心して暮らせる町づくり、③空き家対策は役場など公的ところが間に入ると安心して貸し借りができると思う、④環境づくりには福祉や教育など様々に関連することから関係各課の連携が大事だと思う、⑤高齢者による車の運転が心配で、町としての対策が必要ではないか⑥側溝の泥詰まりなどは町内会や役場などで、1部分だけでなく一斉に実施する取り組みがあればよい、⑦⑧ごみのポイ捨て対策が重要であり、道德教育にもかかってくると思う、⑨ごみ拾いや雪かきなど、自分たちで出来ることは町内みんなですてやった方がよい、⑩空き家対策と絡めながら旅館に変わる施設の確保をツーリズムとして実施できないものか、⑪ボランティアを育てることも大事だし、それも教育だと思う、⑫高齢者も含めた声かけやつながりが大事だと感じる、⑬ボランティアの継続や引継など若者に伝えていくことが大事だと感じる、⑭ボランティアの苦勞、どこまでやればいいのか、どこまでやってもらえれば満足なのか、⑮軽米の良いところは合併しなかったこと。役場でやるのが当たり前と言わずに地元住民が動いていかなければ、⑯新しい建物が少ないので、宇治管理費がかからなくてよい、⑰人口の減は、かえってまとまりやすくなると思う、⑱フォリストパークやミレットパークの活用が大事だ、⑲⑳歩道と道路の隙間に草が生えていてボランティアでは間に合わない。対応としては、クリーンアップデーを増やしてはどうか、そういったことで前回話し合っております。

(部会長) はい。この間分かれて話し合った内容を事務局の方にまとめてもらいましたけれども、その中からは言いませんが、町の方へそれぞれのグループから2, 3にしぼって提案できればと思いますがいかがでしょうか。

## (2) 町長への提言について

(委員1) 前回、私出席できなかったのがあれなんです、まとめですか。環境の中でも道路環境、これが一番大事だと思います。第一にまず学校周り。子どもたちが安心して通える、歩道のある、これがやはり私一番だと思います。まして、軽米を担っていく子どもたちが今学校に通っているわけなんですよ。そこを第一にお願いしたいと思っています。

(委員2) 前回の百人委員会の資料を役場の方で作っていただいて、2つに分かれて話し合いをしたので、別のグループの方の話し合いもできたので良かったと思います。両方に共通しているのが、役場だけに任せないで住民も一緒になって災害の時とかクリーンアップデーみたいな衛生に関することとかもやっていけたらということ。いまクリーンアップデーというと、川のところへ行って空き缶を拾ったり、草を刈ったりというのがあって、そこまで行けない人は公民館の周りの草を刈ったりというのがあったりするんですけど、もっとクリーンアップデーの期間を延ばしてというのもあったようですけれども、川の周りの草刈りは最低でも年に2回はやらないといけないと思うんですけども、この間は国体のボランティアということで道路のごみ拾いなんかもしたんですけども、そういう時はまた、子どもたちも一緒に出ますので、みんなで町をきれいにしていく、そういう考えを広めていけたらと思います。あと、川沿いに桜の木があるとか長寿や健康という言葉もこの間の会議の中で出ていましたけれども、桜の木なんかきれいに整備をして、みんなが年をとってもそこをゆっくり散歩できるようなそんな環境を作れたらいいなと思いました。もうひとつ、毎年除雪や雪かきをするときに、今日はどこの地区を除雪しますとか、そういうのを朝や夕方の放送で流してくれたら、一緒にやりたいという声を聞きます。やっぱり、みんなでやっていくという考えがこれから大事だなと思いました。先ほどは歩道の話も出ました。歩道は通学のためにももちろん大事ですけども、高齢者の人たちのためにも大事だと思います。町で公共施設を建てるときに、植え込みをよくつけますけど、その植え込みの分で、歩道をつけたらなと私なんかは思うんですけど。そのあたりは質問です。

(委員3) 今出された質問、意見ですか、に少し答えさせてください。まず河川のごみ拾いですけども、守る会の方ではやっているんですけどね、年々参加者は減っていて、区長さんや班長さん出てくださいとお願いはしているんですけど、去年は上館が2人、桜山が1人、大町が1人、本当は20数行政区で2人ずつでそれくらいの数になるはずなんだけれどもまあそんなもんです。久慈とか種市、八戸の仲間が20人くらい、ここ6、7年来ているんですよ。そういうような状況なんですよ。なかなかボランテ

ィアでやるのも大変だろうと思って。みんなが協力してくれていればいいけど、なんとかその形でずっと続けていければいいんでしょうけど。

(委員 2) さっき私ボランティアとは言ったんですけど、ボランティアだけではできないと思うんですね。役場との連携とかそういうことを言ったつもりでした。お知らせとかそういうのも含めて役場のその力というのが大きいと思います。あと、前回の話し合いの内容を見てみると、軽米方面、小軽米方面、晴山方面はちょっといないようなのであれですけども、学校周りの整備とかも町に限った話ではなくどこの地区も大切な話だと思います。

(委員 4) 前回は川に流れ込む側溝の詰まりを直してもらったという話をしたんですけども、地域の人とクリーンアップの時などはみんなでゴミを拾うんですけど、それが終わるとすぐにまたポイ捨てが目立つ。車で走っていてもわかるくらいのごみが落ちていたりもして、これは意識が低いからなのか何なのか。提言としてどうまとめたらいいかわからないが、そう言ったところも大事だと思う。この間の国体が始まる前のボランティアで道路のごみ拾いをした人は子どもから大人まで、ああこんなに汚れているんだとかごみ拾いは大変なんだということが身にしみて分かったと思うし、今後ゴミを捨てることはしないと思う。キレイに刈られているところなどはゴミが少ない。いくら草が伸びていたり、刈られていないところなどはごみが捨てられていて、そうすると後の草刈りまで大変になる。

(委員 1) 前回の話の中にボランティアの育成というのがあったようなんですが、私これは本当に大切なことだと思います。いま、スクールガードをしているんですが、スクールガードはそろいのジャンパーや腕章など私たちはボランティア活動をしているよというのをアピールしています。そういったことを各地区にも広めて、先ほど出たポイ捨てなども、ちゃんと見ているんだよ、というのを知らせていった方がいいと思うし、あとは犬の糞なども同様で、犬を飼っている世帯にチラシを配るとか何か対策をした方がよい。みんなで意識を高めていくことが大事ではないか。

(部会長) 先ほど、除雪の時間をお知らせしてほしいというのも出たけども、その辺については役場では対応できるものなの？

(事務局) 例えば、除排雪をしますよというのであれば、いつ、どこをやりますというのはお知らせすることは可能かもしれないが、一般の除雪は積雪が 10 c m 以上になった時に出勤をかけるので、その時間が夜中の 1 時になるか 2 時になるか 2 時半になるかというのはその時その時で違ってきますので、それを事前に周知するのは大変難しいです。ただ、歩道に雪が詰まって大変だから、地区の人も出て雪を寄せるからそれを最後にもう一度除

雪してほしいというようなことであれば、では明日の何時ごろ行きますというようなことはできると思います。

(委員2) ということですか。夜中の除雪をいっしょにというのは大変なので、連絡を取りながら協力してやれば。

(総務課長) すみません、ちょっとよろしいですか？先ほどから、提言を絞らなければというお話をされていますが、せっかく良いご意見が出されていますので、その中から役場にできること、というような形の方がよいのかなと考えますが、いかがでしょうか。

(副部会長) あの、私は衛生・住環境のグループに入って、今回このように箇条書きの形でまとめて送られて来て非常にありがたいなと思っていました。こうやってまとめたときに同じようなことであれば、ここにはまだ20個ほどあげられています、この中でこれとこれは似ているというのがあればまとめていけばもう少しすっきりするんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。

(地域整備課長) よろしいでしょうか。あの、この資料もですね、そこまで考えずと言えはあれですが、案とかそういうのではなく何かたたき台になるものがなければと思って作成したのですが、先ほどからですね、ボランティアを育てることが大事だとか意識を向上させるものが必要だとかですね、ポイ捨てなど意識が低いのはどうしたらいいかとかですね、そのどうしたらいいかの部分を皆さんからお聞かせいただければ、またさらに議論が深まるのではないかと思います、皆さんいかがでしょうか。

(部会長) という事務局からでしたが、皆さんいかがでしょう。

(副部会長) ボランティアに関しては、この間もいいましたが昔は登録制度みたいなのもあった。今はないというのであればまた新たに募集をかけて、何をやるかというのは集まってから振ればいい。一つのとっかかりとしてそういうのがあれば。でないとか何かしたいけど、どこで何ができるのかというのが分からない。もう一つは、女性組織が今のところ軽米町には無いんですね。商工会女性部だとか農協女性部だとかそういったのを協議会か何かにもとめる話も以前、男女共同参画か何かの時に出了けども、条例も何も今軽米にはないんじゃないかなと思って。だから、何か組織の力に頼るためには、まずその組織を作らなければならないのかなと。なので、提言をすればその組織づくりだったりするのかと思います。ボランティアに限らずですけどもね。空き家対策とかにしても、町長が一生懸命頑張ると言っていましたけれどもその後は特にどうなったという話も聞きませんし、もう見るからに空き家になっているところなんて家の前にごみなんかもすごいですし、そういうところも勝手にはできないだろうけれ

どもボランティアなんかで掃除したりとかもできるのかなと。いま軽米にある空家も実際持ち主は軽米に住んでいなくて、というのもあるんじゃないかなと。そういったのも情報として私たちには貸したくないのかほんとは貸したいのかというのを知りたいところですね。

(部会長) そういことですが、皆さんはその組織作りとかボランティアとかそういったことはどうお考えなのか、全員から意見を聞いてみたいのですがどうでしょう。

(委員1) いいことなんじゃないですか。やっぱり昔あった組織をもう一度よみがえらせる、復活させるというのは。町内会なんかから広げていくのが一番だと思います。

(委員5) なんといいかまとめられていないんですけど、前回は出席できなかったんですけど、まとめたのを読ませてもらって、両グループで出された意見の中で同じかなと思ったのが、役場だけに任せないで、役場と町民が一体となってやっていくというのが大事なんじゃないかということかなと思います。それをまとめた形で提言にすればいいんじゃないかなというのを思っていたんですけど、それを掘り下げて実現に向けてどうしていけばいいのかということになるとどうまとめればいいのか少し混乱している感じです。

(委員6) さっき隣の委員さんともお話してたんですけど、ボランティアでどんなことをしているのかという情報も少ないのかなと。皆さん積極的に活動されていてすごいなと思いながら、私みたいにあまり外に出ないと、あのジャンパー来ている人たち誰？というのがあって、何年もしてから、スクールガードの人？となるんですね。でもたぶん、私だけじゃなくてどういう人もいると思うんですね。役場からとかじゃなくても何か広報的なこういうのがあるというのをお知らせしたりとか、まえは募集とかもあったようですけど、そういうのも知らなかったし、ボランティアを通じてつながりができるようなそんな形になればいいなと思います。やりたい人は結構いると思うんです。

(委員4) 一番新しいボランティアといえば東日本大震災の時の被災地支援で、その時は社会福祉協議会に登録してというのでしたよね。そういうのをもっと広げていったらと思うんですね。いま高齢者が多くなって、若い人が少なくなってという時に、やっぱり若い力がほしいときがあるんですね。高齢者の方には高齢者の方にしてほしいことがあるし、若い人には若い人にしてほしいこともある。そういう時に高校生でも中学生でも若い人たちにも登録しておいてもらえるようなものがあればいいのかなと思います。そういうのが意識を向上させる何かになるんじゃないかなと思います。

- (部会長) 災害時のボランティアなんかは役場のほうでもやってるよね？
- (委員 7) 軽米もだけれど、ほとんどのところで災害時のボランティアなんかはその時に呼び掛けて集めていく。じゃないと、常に全員に保険をかけていないといけないし、かけていてもこれない人もいるわけだから。
- (委員 4) だと、その都度集めて集まった人の分保険をかけていくわけ？
- (委員 7) その形。野田村に行った時も社会福祉協議会が集めた。
- (委員 8) ボランティアに関して言えば登録だけしておくというのに賛成です。何があるかというのは後からにしても、自分は何ができますということはしてもいいと思う。
- (委員 2) 町長への提言ということなので、町で力を入れているソーラー発電を、街灯だったり公衆トイレの伝統だったりに使って、通学路なんかはずっと明るい状態になればいいと思います。
- (部会長) いま、皆さんからたくさんのご意見をいただきました。私としては、前回の 2 つのグループで話し合われたこと、先ほど出されたとおりその中で共通する部分もありましたのでそれらをまとめ、そしていま出された防犯灯、街灯などのソーラー発電、この辺りを提言として出せたらと考えていますがいかがでしょうか。
- (地域整備課長) そうですね、実際にこれらをまとめるのも難しいと言え難しいと思います。これをもってまず、提言という形でもよろしいかと思えます。かえって、一つ二つにまとめるというほうが難しいかもしれません。
- (総務課長) 今日出た意見も含めてですね、事務局のほうでまとめて、部会長副部会長のほうに一任していただけるのであれば確認していただいて、町長への提言という形で行ければいいのかなと思うんですけども。
- (部会長) 皆さんがそれでよろしければ、それで行きたいと思えます。
- (地域整備課長) ではですね、そのようにして事務局のほうでまとめさせていただきますね、皆さんに一度確認いただいたほうがよろしいですか？
- (委員 7) 部会長副部会長に確認してもらって、それを後はみんなに配ってもらえればいいんじゃないですか。
- (部会長) はい、それでは、そのように事務局に進めてもらいますのでよろしくをお願いします。

### (3) その他

- (部会長) それではその他で事務局や皆さんから何かありますでしょうか。
- (委員 9) この会議に限らず全てのことでそうだと思うんですけども、例えば私を含めてこの場に交通安全関係の団体の皆さんが数人お見えなんですけれども、町には交通安全対策協議会というのがあります。その協議会で

1年に1回総会をやる。充て職の人が役員になって1年に1回総会をやる、会議を開いて何を決めるかという、事務局の人が案を作ってそれがほぼそのまま通るんです。なんで今これを話すかという、いま軽米で初めて交通死亡事故が5年間0なんです。これは初めての事です。これまではいくら運動をやっても死亡事故を止めれない。で、交通安全対策協議会の会長は町長ですよね。町長は挨拶をするといなくなる、この前はいましたけれどもね。そんなことで、1年に1度、充て職の人が半分も来るかな、という中で開かれて、1年間の計画が決まるんです。ということは、何も変わり映えがないんです。じゃあこれが交通安全対策協議会だけかという、とそうでないと思うんです。むしろほとんどがそうじゃないですか。確か会員は30人くらいいたと思いますけど、出席は半分くらい。しかも充て職だからコロコロ変わっていく、だれも責任がないんですね。それで数年前に検討部会を作りましょうという話になって、総会の前に1年分の計画を作ってそこに諮ってもらいましょうということになった。担当の人も変わるので、極端な話、担当のやる気ひとつで全然内容が変わるんです。なので、申し訳ないですけど担当の人のチェック機能といいますか、そういった形で今、3か月に1回くらいで検討部会を開いて、状況によっては今までなかったものを計画に入れたりしてやるようにしています。おかげさまで今だんだんそれが軌道に乗ってきていますけれど、他の会議なんかでもおそらく全然見直しなんかはしないでここまでやってきていると私は思っています。これは、町長自身もそういったたくさんある会議の中身やあり方みたいなのがわかっていないところもあるんじゃないかと思います。それをもう一度町長さんにも見直してもらって、本当に活動できる委員会、今のこの百人委員会もそうだと思うんですけれど、ただ開けばいいのでなくて、本当に求めたいことはなんなのかというところを町長の頭の中から発案してもらってですね、こういった部会も開かないとただ時間をつぶして何も成果が上がらない、上がらないということはないんでしょうけれど、上がりにくいという会議が多いように思います。その辺をもう一度見直していく必要があるんじゃないかと思っています。せつかくの機会ですので、そういったことも提言していただければと思います。